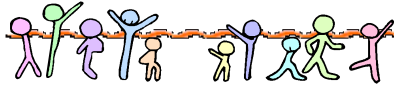


ぼうさい



発行 平成16年6月10日 創刊号
NPO セーフティネット ぼうさい
〒948-0003
十日町市本町 6-3
連絡先(代表 尾身誠司)
電話 0257-52-7353
FAX 0257-52-7376

E-mail tbk119@jeans.ocn.ne.jp

「NPOセーフティネット ぼうさい」の設立

代表 尾身誠司

「自分の命は自分で守る」
「我が家は自分たちで、地域は地域で守る」防災の基本です。

誰もが分かっていながら、一旦ことが起こると、大慌てしてしまふ。それは、自分は注意しているから大丈夫。大地震なんかこない。危機意識の欠如のほかありません。

未曾有の被害を受けた阪神淡路大震災は、記憶から薄れつつあります。

地震国日本は、海溝型地震、内陸型地震と月に一〇〇回多いたきには五〇〇回も起きています。

今盛んに東海・南海・東南海地震が起こると警戒されています。近い将来発生することは間違い

ありません。

離れているから安心と言いつけるでしょうか。

都会に子供、孫、兄弟、関係する人が沢山います。起きてもらいたくないけど必ず起こるので

す。
この地域はどうかというと、信濃川を挟み活断層が走っているのは分かっています。

全国に二〇〇〇箇所ある活断層のうち、九八が主要活断層として調査されていますが、その中に入っています。いつ起こるか分からないのです。

地震のメカニズムを知ること
危機意識をもつ。

地震に備えるの対応をする。
地震発生時の対応をする。
関係行政機関のみでは手が回らないのが現状です。

年に五〇件ほど発生している
火災、近年焼死者が増加してい

るのが特徴です。

一年に一人未満だったのが、この四年間で平均五人亡くなりま

した。
高齢化が進み、老人の死者が増え危惧されています。

町内、老人会等防火講習会を通じ火災予防を呼びかけ、消火器の更新、自動消火装置の普及等を進めます。

悪質訪問販売が横行し、被害にあった方が沢山います。被害にあわないためにも、活動が必要と考えます。

信頼のおける団体、非営利活動法人(NPO)セーフティネット ぼうさいを設立いたしました。今まで任意の団体として活動をしていましたが、防災のこともなんでも気軽に相談ください。

「NPOセーフティネット ぼうさい」の紹介

一 目的

高度な技術と、豊富な経験を有する会員相互の協力により、防火、防災に関する幅広い分野で、防災講演及び防火講習会を通して、地域住民の生命、身体及び財産をあらゆる災害から減災すること。あわせて大災害発生の場合にボランティア活動のリーダーとして関係行政機関の協力をすること。災害に強い街づくりに貢献することを目的とする。

二 事業

① 町内、集落又は老人会等を単位に防災講演、講習会等を行い防災、防火の啓蒙活動

② 防災、防火器具用具の

幹旋

③ 災害ボランティアのネットワークづくり

④ その他、簡易耐震診断などを計画しています。

三 会員・賛助会員

① この会の目的に賛同して入会した個人及び団体

・ 正会員

入会金 一万円

年会費 一口五千元

一口以上

・ 賛助会員

個人 一口二千元

一口以上

団体 一口二万円

一口以上

現在会員十二名です。

会員・賛助会員を募集しています。

研究会を開催しました

テーマ

「地域の防災を考える」

主催 NPOセーフティ

ネット ぼうさい

日時 平成十六年四月十日

午後一時三十分

場所 十日町市学校町一

市民会館

今後も勉強会を開催する予定です。

ぼうさいメモ

平成十四年消防白書から

(全国)

・ 住宅火災死者

一〇〇〇人を超す

・ 高齢者が六割を占める

(十日町管内)

・ 火災による死者

五名(高齢者三名)

平成十五年

・ 十日町管内の死者

六名(高齢者四名)

・ 今年度すでに二名

消防庁は平成十七年から住宅に火災警報器の設置を義務づける方向で検討しています。

